

「東日本大震災からの相馬市の復興」を学ぶ機会の提案について

1 提案の趣旨

東日本大震災発生から10年が経過し、震災当時を知らない若い世代が増えてきています。

震災の風化を防ぎ、後世へ語り継いでいくことは、将来同様の災害が発生した際に命を守るうえで重要な課題であります。また、震災による相馬市の被害や、どのように復興を果たしてきたかを学ぶことは、防災意識を高めるだけではなく、児童生徒の郷土愛を育み、相馬市の将来を担う人材として健全に育つためのきっかけに繋がることを期待しております。

そのため、今年6月に作成した小学生向け震災・復興学習資料（相馬市まちづくり出前講座）を活用し、児童生徒に震災からの相馬市の復興を学ぶ機会を提供していただきたい。

2 まちづくり出前講座の概要

タイトル 「相馬市の復興～東日本大震災を乗り越えて～」

講師 相馬市役所 企画政策課職員

内容 震災の概要や相馬市の被害状況、復興のあゆみなどをクイズ形式で出題し児童が回答する（全10問）。
講義後、グループワークを実施し、児童がこれから自らできることは何かを考え、発表する形式。

講座時間 100分程度（約2校時分）

【タイムスケジュール（例）】

開講	自己紹介	講義	休憩	グループワーク (自分たちにできることは何か?)	発表	質疑応答	閉講
約5分	約5分	約40分	約10分	約20分	約15分	約10分	



3 活用事例（まちづくり出前講座）

- 令和3年6月24日（木）5～6校時
桜丘小学校 5年生（80名参加）

桜丘小学校では、今年度総合学習の時間にて、福島県での震災と復興をテーマに学習を進めており、その一環として相馬市の震災復興を学ぶため「まちづくり出前講座」を受講した。

【グループワーク後の発表一例】

- ・相馬市の食材を残さずに食べる
- ・相馬市の魅力を市外県外に伝える
- ・ハザードマップを家族で確認する
- ・将来、農家や漁師になる 等

※令和3年度中に中学生向け資料を作成予定

